

令和5年度 小平市立小平第六中学校 学校評価計画表

学校教育目標

○敬愛 ○勤勉 ○創造

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 ●(生徒)主体的に活動し、将来に向けて挑戦できる魅力ある学校 ●(保護者)安心と信頼があり子どもを通わせたい学校 ●(地域)地域や保護者、学校が協働した、地域とともに歩む学校
- 【目指す児童・生徒像】 ●生きる力をもつ生徒 ○思いやりのある生徒(敬愛) ○自分の責任を果たすことのできる生徒、進んで学習に取り組む生徒(勤勉)○自己の個性を伸ばし、豊かに表現できる生徒(創造)
- 【目指す教員像】 ●生徒を心から慈しみ理解する ●日々研鑽に努めるとともに協働して磨き合う ●地域を愛し保護者や地域の信頼に応える ●職責の重さを自覚し、コンプライアンスに基づき職務を行う

前年度までの学校経営上の成果と課題

- 【成果】 ●落ち着いた生活状況により、より良い学習への取り組み状況が見られる。 ●生徒の自己肯定感の増進による各種活動の活発化ならびに他者理解の促進(研究成果)
- 【課題】 ●六中スタンダード(より良い授業作りの基本方針)による学習指導力の向上 ●保護者への教育活動へのさらなる理解推進(広報活動の充実) ●不登校生徒への働きかけ ●家庭環境の問題による課題のある生徒への対応

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標			
学力向上	●生きる力(学習を考える力)の育成 ○主体的・対話的な授業づくりに取り組む(ICT機器の活用を図り、個別最適化と協働的な学びにつながるようにする)。 ○学習習慣づくりを進め、自主学習(家庭学習・放課後学習)の定着を図り、生徒の主体的に学ぶ力を向上させる。	・授業において学習者用端末を活用し、意見交換をするなどの対話的で協働的な学びの活動を設定する。 ・個に応じた学習活動ができるための課題提示を行う。(ICTやワークの利活用)	・統一した授業形態(指導方法:六中スタンダード)を実践し、生徒が授業の流れを予測し、自らの学びを実感する分かりやすい授業を展開する。 ・学習者用端末を授業で利用する。	4	①研究授業の実施及び参加、研究会などへの参加回数。5回以上。	90%	4 ○生徒授業評価アンケート達成率(よくあてはまる+まああてはまる)①~③達成率の平均	90%	
				3		80%		3	80%
				2		60%		2	60%
				1		50%未満		1	50%未満
	・学習を通して生徒に「できた、わかった、うれしい」と思える経験を多くもたせ、挑戦しようとする力を育てる。 ・学習者用端末を持ち帰り、授業と家庭学習がつながる取組を行う。	・こだろくノートによるタイムマネジメントを行い、生活習慣づくりを推進する。 ・学習支援教室(放課後ジョイナス、土曜ジョイナス 他)を実施し、個に応じた補充学習の機会を増やす。	4	①校内アンケート「あてはまる+ややあてはまる」(%) 「こだろくノートにより、スケジュール管理や時間管理を通して、生活習慣づくりを促進した。」	90%	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「家庭では、家庭学習が習慣化してきている」	90%		
			3		80%		3	80%	
			2		60%		2	60%	
			1		50%未満		1	50%未満	
健全育成 (いじめ防止)	●生きる力(人を・自分を考える力)の育成 ○生徒の規範意識と主体性を高める。学校及び家庭生活において規則正しい生活習慣を確立させる。 ○自他を尊重し思いやりのある生徒の育成を図る。いじめやいじりを「しない」、「ゆるさない」心を育む。不登校支援の推進。	・生徒の自治活動を充実させ、生徒自身の規範意識を向上させる。 ・保護者との連絡を密にし、個々の問題行動に対して迅速に的確に対応するとともに規則正しい生活習慣を促す。	・6中SDGsなどの生徒会・委員会活動の促進。読書活動の推奨。 ・あいさつや礼儀、マナー指導を推進。 ・問題行動に対して連絡白板を活用する等、教員間の情報共有の徹底。	4	○校内アンケート「あてはまる+ややあてはまる」(%) ①「学校は、問題行動に対して、家庭や地域・関係諸機関との連携を密にし、早期発見・早期対応を図ることができた。」②「学校は、生徒会・委員会活動を通して、生徒の主体的に社会形成へ参画できる能力や態度を育成することができた。」 ①②の達成率の平均	90%	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「家庭では規則正しい生活が身についてきている。」	90%	
				3		80%		3	80%
				2		60%		2	60%
				1		50%未満		1	50%未満
	・学級経営を充実し、合意形成や協力して課題を解決する経験を通して、自他を尊重する心を育む。 ・いじめや不登校への未然防止、早期発見、早期対応の取組を組織的に行う。	・いじめ調査を定期的実施し、実態把握と組織的な取組を行う。 ・生徒会が主催し、生徒が主体となるいじめ防止への取組を実施する。 ・道徳教育により道徳的心情を育む。	4	①いじめに関する調査の実施回数。10回以上。 ②道徳科授業における思いやりに関連させ実施した回数の合計5回以上。 ③生徒会が企画・主催した活動の実施回数が10回以上。 ①~③の達成率の平均。	90%	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「学校は、生徒理解に努め、生徒や保護者から相談しやすい雰囲気作りを大切にしている。」	90%		
			3		80%		3	80%	
			2		60%		2	60%	
			1		50%未満		1	50%未満	
学校経営	●コミュニティスクール活動の推進 ○生徒の成長を支える教育活動を地域や保護者から提案してもらい、関わる機会をつくることで、充実感ややり甲斐を感じるウィン・ウィンの関係を構築し、地域の教育力を持続的に高める。	・学校経営協議会を月1回実施。プロジェクト(キャリア教育、健全育成、学力向上)からの提案を受け活動に生かす。 ・地域施設(小平福祉園など)との連携と協働のもと不登校学習支援を行う。	・コミュニティ・スクール推進委員会を適宜、実施する。参加者は学校経営協議会委員、管理職、分掌主任(教務、生活指導、進路学習)、学年主任で、情報・意見交換を行う。	4	○校内アンケート「あてはまる+ややあてはまる」(%)	90%	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「学校はコミュニティ・スクールとして、生徒を育てていくために学校と保護者・地域と連携している。」	90%	
				3		80%		3	80%
				2		60%		2	60%
				1		50%未満		1	50%未満
	・学校の教育活動を積極的に情報発信し、地域住民や保護者の六中教育活動への理解を促進する。 ・小中で統一した取組により、中1ギャップの解消と家庭の教育力向上を図る。	・日々の教育活動をHPや学校メール、学校・学年・クラスだよりにより発信する。(近隣、小学校へ掲示など) ・六中学区連絡協議会を編成。 ・学校公開の実施。	4	①HPにて学校の教育活動を公開した月ごとの平均件数。30回以上。 ②学校公開を実施した回数。10回以上。 ①②の達成率の平均。	90%	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「学校は、HPや学校メール・お便り等で情報公開を積極的に行っている。」	90%		
			3		80%		3	80%	
			2		60%		2	60%	
			1		50%未満		1	50%未満	
キャリア教育	●人を考える・自分を考える力の育成 ○人としての生き方を考えさせ、将来の自分の夢や進路に向け主体的に取り組むことのできる生徒を育成する。また、自分の住んでいる地域を知り、地域を愛する心の育成を図る。	・コミュニティ・スクールの特性を生かし、進路関係の取組において地域の力を活用する(職業講話、ようこそ先輩、マナー講座、福祉体験)。	自己の将来を描くことのできるよう、生きる力を高める取組を実施する。(生き方講演会、職場体験、職業調べ、上級学校訪問、道徳、体験授業など)	4	○校内アンケート「あてはまる+ややあてはまる」(%) 「進路学習(「未来を見つめ、職業を調べる」「上級学校について学ぶ」「未来に向かい、自分の生き方を探求する」など)を通して、自己の未来を考え、社会に貢献すること、どのような生き方をすべきかを深く考える能力や態度を育成した。」	90%	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「学校は、生徒の自己実現達成のため3年間を通して、進路指導を行っている。」	90%	
				3		80%		3	80%
				2		60%		2	60%
				1		50%未満		1	50%未満
	・地域の方々との交流(CSプロジェクトの各活動、地域の活動など)を通し、地域の理解を図るとともに自己有用感を高め、自分が地域の一員であることを感じさせる。	ボランティア活動や地域行事への参加を促進する。(地域清掃活動、青少年の活動の体験など)	4	○年間でコミュニティ・スクールプロジェクトのキャリア教育、健全育成などに関する取組(地域交流関係)と福祉教育などの関連する取組を教職員と学校経営協議委員が実施する回数(回)	6回	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「学校はコミュニティ・スクールとして、生徒を育てていくために学校と保護者・地域と連携している。」	60%		
			3		4回		3	60%	
			2		2回		2	60%	
			1		1回以下		1	60%	
防災教育	●安心安全な教育環境の整備 ○生徒に災害発生時に自他を守る知識・技能の習得を図るとともに、安全な学校生活と教育環境の整備を推進する。	・毎月、全教職員で校内を点検し、小平市教育委員会施設担当と連携を密に図ることで補修必要箇所の修繕を行う。 ・「自助」「共助」「公助」の観点から生徒の防災に関する知識・技能を高める。	・避難訓練の適切な実施。 ・災害に対する意識を高めるため、防災教育を道徳、総合的な学習の時間を活用し適宜実施する。	4	①安全・防災に関する指導の実施回数(毎月1回を予定、8月を除く)。 ②避難訓練時の避難完了時間(分)。5分未満→4、6分未満→3、7分未満→2、7分以上→1とし、その平均数。 ①と②の合計。	15以上	4 保護者・地域アンケート達成率(よくできている+だいたいできている)(%) 「学校は、避難訓練や防災教育を通して、緊急時の意識を高め、対応に備えようとしている。」	15以上	
				3		13以上		3	13以上
				2		11以上		2	11以上
				1		10以下		1	10以下
働き方改革	●勤務時間管理と健康管理を意識した働き方を推進する。 ●育児休業 ●服務遵守	・服務遵守の徹底と業務改善について教職員の意識を向上させる。 ・育児休業の意義について周知する。	・長時間勤務者への面接指導を実施する。 ・育児休業を取得しやすい雰囲気と体制づくりを行う。 ・自分事として捉える服務防止研修の実施し、チェックシートで確認する。	4	○校内研修、企画委員会等で管理職からの教職員の超過勤務時間削減に関する啓発・指導の回数並びに服務関係研修など実施の合計。	12回	4 週あたり在校時間80時間以内の達成率(%)	12回	
				3		9回		3	9回
				2		6回		2	6回
				1		3回		1	3回